

教科用図書の調査研究報告書（総括）

種目名	生活
<p>発行者</p> <p>東 書</p>	<p>総合的な所見</p> <p>第1の観点</p> <p>①スタートカリキュラムを意識した単元構成がみられる。</p> <p>②保護者とともに学ぶことができる記述がある。</p> <p>③自分の成長をまとめる方法がたくさん掲載されている。大きくわかりやすく示してあるため考えやすい。</p> <p>④「やくそく」コーナーが設けられ、活動で必要なきまりや安全について知らせている。</p> <p>第2の観点</p> <p>①幼児期の終わりまでに育ってほしい姿が、写真やイラストで具体化されている。</p> <p>②表現したりまとめをしたりする際のシートの書き方が示されている。</p> <p>第3の観点</p> <p>①季節の生き物に関する単元の分量が多い。</p> <p>第4の観点</p> <p>①「やくそく」の欄があり、活動を通して身に付ける習慣や技能が示されている。</p> <p>第5の観点</p> <p>①単元末に伝え合う活動が設定され、体験活動と表現、交流する活動が一体的に扱われている。</p>
<p>大日本</p>	<p>第1の観点</p> <p>①活動や体験を通して気付かせたいことが児童のつぶやきとして吹き出しに書かれている。</p> <p>②地域で生活したり働いたりしている人々に関わることに意欲をもてる活動が設定されている。</p> <p>③カードの活用による自分の成長の振り返り方が掲載されている。</p> <p>④「がくしゅうどうぐばこ」として、交通ルールやマナー、防災上の注意点が掲載されている。</p> <p>第2の観点</p> <p>①スタートカリキュラムを意識し、幼稚園や保育園、こども園と生活を比較するページがある。</p> <p>②発達段階に合わせたワークシートの例が掲載されている。</p>

	<p>第3の観点 ①季節を意識させる単元配列と目次の工夫がされている。</p> <p>第4の観点 ①QRコードが多くあり，活動イメージや約束事を確認することができる。</p> <p>第5の観点 ①発表方法について多様に紹介されている。</p>
学 図	<p>第1の観点 ①飼育活動が充実している。 ②町について学習する単元と地域について学習する単元に分かれており，人に着目しやすくなっている。 ③上下巻の両方に自分の成長を感じることができるようにする単元がある。 ④活動の場面では，「やくそく」という項目があり，気を付けることを確認することができる。</p> <p>第2の観点 ①単元の導入では，今までの生活経験を想起させる場が設定されている。また，終末では，これから学習を深めたり，自分の生活と結び付けたりできるようになっている。 ②ワークシートを書いた時の気持ちを表現する場面や素材との対話の場面が設定されている。</p> <p>第3の観点 ①単元の掲載順が，学習する時系列順ではなく単元の内容ごとに構成されている。</p> <p>第4の観点 ①4人のキャラクターとともに学習が進んでいく。単元ごとにメインキャラクターが設定されていて，気付きや疑問をつぶやいている。</p> <p>第5の観点 ①様々な発表方法が紹介されている。</p>
教 出	<p>第1の観点 ①写真，イラストが多い。 ②様々な人と関わることを意識したイラストが提示されている。 ③植物の成長などが比較しやすいように，年間の様子が掲載されている。 ④実生活に結びつく（活かせる）ような写真やイラストが提示されている。</p>

	<p>第2の観点</p> <p>①入学後の生活がイメージできる写真がいくつも提示されている。</p> <p>②単元の終わりには、かならず振り返る手段が写真やイラストとともに提示されている。</p> <p>第3の観点</p> <p>①上巻では就学前，下巻では中学年への接続を考慮した単元配列になっている。</p> <p>第4の観点</p> <p>①学びを促すための動画が小見出しとともに提示されている。</p> <p>第5の観点</p> <p>①相手にわかりやすく伝えるための具体的な姿（タブレットを使うなど）が写真やイラストで提示されている。</p>
光 村	<p>第1の観点</p> <p>①季節ごとに分けて、植物や昆虫，木の実の写真があり，比べることができる。</p> <p>②地域の人（園児）と関わる場面が設定されている。</p> <p>③学びを振り返る活動が設定されている。</p> <p>④コーナーやマークが多くあり，安全面や注意喚起がされている。</p> <p>第2の観点</p> <p>①児童が学校生活に興味をもち，安心して小学校生活を始められるように内容が設定されている。</p> <p>②写真や小見出しの言葉を効果的に配置し，導入，展開，振り返りまでが児童の思考に沿って示されている。</p> <p>第3の観点</p> <p>①絵や写真，短い言葉で，架け橋期を支えるスタートカリキュラムや中学年への接続を意識した展開となっている。</p> <p>第4の観点</p> <p>①マークで動画の種類が見分けられるようになっている。</p> <p>第5の観点</p> <p>①まとめ方の紹介で，写真のスライドショーが紹介されている。</p>
啓林館	<p>第1の観点</p> <p>①児童が考えたいくなるような問いやクイズの掲載がある。大きさを具体化したり比較させたりすることで本当の大きさを捉えることができるようになっている。</p> <p>②地域の人々のセリフやインタビューの例があり，実際の活動に活かすことができるようになっている。</p>

③「できるかな」「できたかな」の記載がある。

④「がくしゅうずかん」の記載がある。

第2の観点

①スタートカリキュラムに沿って、幼児期の経験を発揮しながら楽しく学校生活が始められるよう内容が設定されている。

②他教科で学んだことを生かしながら、表現活動や振り返りに取り組めるよう設定されている。

第3の観点

①5月ごろまでの入門期の単元の分量が多い。

第4の観点

①見開き2ページの左上に、単元導入の「わくわく」、主な活動の「いきいき」、表現活動の「ぐんぐん」の3段階のマークで単元の流れが示されている。

第5の観点

①多様な表現活動が示され、そこで表現されたことを各単元末に伝え合う場が設けられている。